

平成26年度 事務事業マネジメントシート

事業名	消防団管轄区域適正化事業			会計	款	項目	大	小
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	消防総務課			
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	吉野 康雄			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	消防団	意図	都市化開発に伴う消防団の効果的な活動を図る。
事業内容	流山市消防団のあり方検討会開催。			
事業開始から現在までの状況変化	TX沿線開発に伴う都市構造の変化により人口の増加が見込まれ、それらに対応する消防団組織等様々な問題を検討するため、消防団幹部による「消防団のあり方検討会」を立ち上げ新たな分団の設置も踏まえ協議したが、消防団員の定数確保を最優先課題として結論付け、閉会とした。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成24年度	平成25年度	平成26年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 検討会の開催回数	2	0	0	回	↓↓↓	
	② 出席人員	45	0	0	人	↓↓↓	
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 検討会は20年度から述べ15回開催したが、これまで意見等を踏まえた最終報告を24年度末にまとめ、一定の方向性を共通認識として当該検討会は閉会とした。
事務事業のコスト		平成24年度	平成25年度	平成26年度			
事務事業の総コスト(a=b+c)		1,435,600					
事業費(b)(円)							
うち一般財源							
職員給与費(c)(円)		1,435,600					
人役・職員(人)		0.20					
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	C 必要性は低下すると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	VII 終了（事業を終了すべき）					
					コストの削減	D 大幅に削減すべきである

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H26)の改善計画	事業終了
②今年度(H26)に実施した取り組み	事業終了

③取り組みの課題	事業終了
④今後の改善計画	事業終了